

# 高次脳機能障害

—当事者、家族、そして支援者の方々に—



絵・石井一隆(当事者)

## なごみだより

令和3年度秋号(第33号)

とちぎ高次脳機能障害友の会 2021.9.24 発行



この会報誌は、赤い羽根共同募金の助成金により発行しています。

## はじめに

長い自粛生活をどこまで徹底できるのか、今、コロナウィルスにより私達は試されているように思います。これまで諸外国と比べるとかなり低いコロナ感染者数であった日本も、この夏大きく様変わりしました。特に8月には、変異株の広まりにより感染が急拡大しました。若い人達への感染も広まっています。

この状況下とても不思議に感じることもあります。20~30年前と違い現代社会は溢れる程の情報が飛び交っている社会です。しかし、その情報化社会の中において、実際私達一人一人が受け取っている情報は極めて少ないのではないかと思える現象が沢山起こっています。自粛下でありながら路上飲みする若者の多さに驚きます。オリンピックを無観客にしている一方で、スタジアムの外に押し寄せ大混雑の中に身を投じる人の多さにも驚きます。子供や若者は感染しないという言葉も…。相手はウィルスです。そんなはずはないと疑ってかかる判断は誰もができるものと思っていました。

溢れる程の多くの情報は、それを受け止め正しいと思える情報を選択し自分の行動を決定する上でとても有難いものですが、初めから情報入手の門を狭めてしまったり、選択する力が未熟であったりでは、多くの情報化社会も混迷の一途を辿ることになりかねません。今、この混乱の中に生きる者として肝に銘じて日々を送りたいと思います。

皆様、もうしばらくの間、共に感染しない努力を続けていきましょう。

とちぎ高次脳機能障害友の会  
会長 中野和子



---

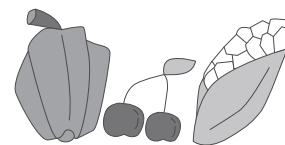
## 目次

はじめに.....	1
活動報告.....	2 - 3
10月から12月の活動予定とお知らせ.....	4
寄稿.....	5
栃木県障害者総合相談所より.....	6
最近のニュースから.....	7
入会のご案内.....	8

# 活動報告

5月 定例会 ..... 5月8日(土)13:00~16:00 ぽぼら 参加者12名

(例年総会の開催月ですが、今年度は総会を書面で実施し、感染対策のしやすさから定例会に変更しました。)



<仲間リハ>… Cocowa さんで作ってくださることになったカレンダーに載せる為のパステル画を描きました。ズッキーニ、パプリカ、ゴーヤ、アスパラガス、チェリー、レモン、トウモロコシ、ラディッシュなど表情豊かな野菜の中から各自1~3、4個を選び描いていきました。以前の作品と合わせてどのようなカレンダーになるのか楽しみです。

<なごみの会>…カレンダーの形態についての話し合いをしました。月毎にめくれる卓上カレンダーが良いという人が数人いて多かったです。Cocowaさんと相談の上決定することになりますので要望通りにはいかない場合があります。その際はご了承下さい。

6月 定例会 ..... 6月12日(土)13:00~16:00 ぽぼら 参加者12名

<仲間リハ>…焼しめの人形に色付けをしました。この人形は下野市で陶芸をされている方から寄付としていただいたもので、オーケストラの奏者をイメージし一体一体形が異なるものです。参加者はそれぞれ自分の気に入った一体を選び、光沢のないアクリル絵の具で色付けをしました。様々な色づかいとデザインに工夫を凝らして、とても楽しい作品となりました。

ました。出来上がった人形は各自家に持ち帰ってもらいました。後日、棚に飾ってあるよ…などの声が寄せられています。<なごみの会>…コロナ禍での生活状況や求職活動が話題になりました。



7月 定例会 ..... 7月10日(土)13:00~15:30 ぽぼら 参加者17名

<仲間リハ>…パソコン教室  
「オンラインで世界とつながろう」

オンラインでの講演会などに参加できるように教えて頂きたいと今までパソコン教室をお願いしていた Cocowa さんに1年半ぶりに来て頂きました。

会場の端に特設のスタジオを作って下さいまして、Cocowa さんの「ねこゼ動画です！」の謎の生物が、各々のパソコン動画に登場。操作について説明して下さいました。その後、スタッフの方が一人ずつパソコン上に入力する際丁寧に対応して頂き、体験することができました。

<なごみの会>

- ・スマホに撮りためている花の写真を Cocowa さんのスタッフの方に見ていただいたり、大好きな犬の話を聞いていただいたりしました。
- ・パソコン教室に参加した感想について「全体説明会では解らなかったが、個別の説明で操作する事ができた。スマホでも出来るとよい。」  
「今回は最後まで座っている事ができてよかった。前は途中で退席となってしまったので。」  
「Zoomの利用料は？」

「基本的な用語集みたいなものがあれば  
知りたい。」等

様々な感想がありました。

※Cocowa様にはパソコン機材等ご準備頂きありがとうございました。  
今後よろしくお願い致します。

(鈴木 能子)

5月26日(水)・7月28日(水) 13:00~15:00

家族の集い カフェ・インクブルー 参加者 5月—5名 7月—6名

コロナ禍で参加者は少なめですが、就労の事、成年後見の事、グループホームの事等さまざまな意見交換が行われています。

ミニ家族相談会<益子> 7月17日(土)10:00~12:00 益子町中央公民館

コロナ禍で講演会等の大きな催しが実施できない中で、今年度から県内各市町を巡って家族・支援者の方にご参加いただける相談会を実施することになり、その第1回目として益子町で開催することと致しました。チラシは広く芳賀地区にある保健センターや社会福祉協議会、病院或いは福祉支援事業所さんなどに配布させていただきました。当日は3家族4名の方と支援医療機関の真岡中央クリニック、芳賀地区相談支援センター、そして県の障害者総合相談所の方々も参加していただき、9名でそれぞれの状況や困り事、更に今後地域で生活していく上での環境づくりについてなど忌憚のない意見を出し合い、時間不足を感じる程充実した相談会となりました。

## 役員会

5月29日(土) 10:30~12:00 ぽぽら 8名出席  
8月21日(土) 13:30~15:30 ぽぽら 4名出席

○ 電話相談 4月—7件 5月—2件 6月—3件  
7月—4件 8月—4件  
○ 家族相談(個別) 7月—1件



定例会風景  
(感染防止対策をとりながらの仲間リハです。)

# 10月から12月の活動予定とお知らせ

9月はコロナ感染拡大の為すべて中止

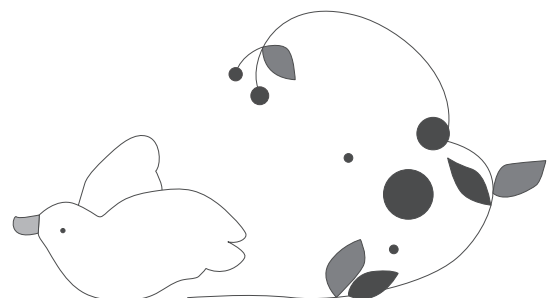
10月～12月の活動予定				
10月	9日(土)	研修旅行	那須どうぶつ王国	中止
	16日(土)	家族・支援者 ミニ相談会(日光)	日光市役所	13時半～15時半
11月	13日(土)	定例会	ぼぼら	13時～16時
	24日(水)	家族の集い	カフェ・インクブルー	13時～15時
	27日(土)	役員会	ぼぼら	10時半～12時
12月	4日(土)	クリスマス会	詳細は後日連絡	

## <お知らせ>

- 10月16日(土)の家族・支援者ミニ相談会(日光)は事前申し込みが必要です。地元支援者の方との顔の見える関係性の構築も大きな目的の一つです。会員(家族)の方のご参加も歓迎です。同封のチラシを参照し事前にお申し込みください。
- 10月2日(土)日本高次脳機能障害友の会全国大会がオンラインで開催されます。既に会員の皆様の中には申し込まれている方があります。
- 栃木県障害者総合相談所主催セミナーも今年はオンラインでの開催です。お話は橋本圭司先生ですので、同封のチラシを参考に是非ご参加下さい。

## <訃報>

正会員の及川真一様が7月にお亡くなりになりました。8年位前になりますが、当時塩原温泉病院のリハスタッフで当会をご支援下さっていた緒方先生に伴われて定例会に参加して下さったのが及川真一さんとの最初の出会いでした。その後何度かお母様と一緒に定例会や総会にご参加下さったのですが、ここ数年は入退院を繰り返す日々、会の方に参加されることはありませんでした。しかし、会報や研修旅行の案内などは楽しみに読んで下さっていて、「体調が回復したら参加したい。」定例会のメンバーの人達を思い出しては「あの人は頑張っているかな？」などの話をされていたそうです。「元気になったらお鮎屋さんをやりたい。」と言っていた及川さん。ちょっとふっくらした顔に角刈り、口数は少なめで落ち着いた物言い、お鮎屋さんのカウンターがとても似合う好青年でした。あまりにも早い悲報で残念でなりません。ご冥福をお祈り致します。



## 寄稿

### ミニ家族相談会に参加して

柳 美由紀

7月17日高次脳機能障害のミニ家族相談会に参加しました。

この企画は、支援機関の方に現状を知っていただき、困ったときは繋がれるようにと、高次脳機能障害友の会の会長さんや役員さんが企画したものです。

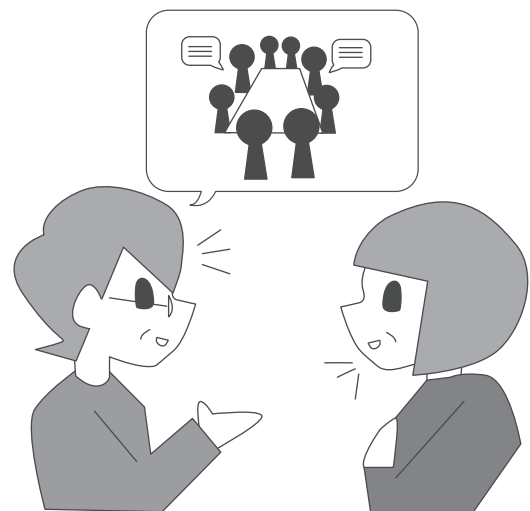
当日は友の会の会長さんを含めた当事者家族4組と栃木県内の支援機関の方4名で座談会形式で行われました。会長さんからは「悩みや不安、思いなどをざくばらんにお話してください」と事前にお話がありました。

私は、家族会の集まりにも出席したことはなく、高次脳機能障害を負った息子のことを人前で話すのは初めてでしたが、副会長の袖山さんのゆったりとした進行のもと緊張せず話すことができました。

昨年の8月交通事故に遭って、自治医大に運ばれICUで意識のない状態で2週間入院したこと、その後の転院先の新上三川病院では意識が覚醒しリハビリを拒否して大変だったこと、現在はある程度回復し週3回会社への通勤できるようになったものの短期記憶障害や遂行機能障害などで会社の支援が必要な状態であることなどの話をして、皆様からさまざまなアドバイスをいただきました。家族目線で見るとどうしても視野が狭くなりがちですが、支援機関やほかのご家族からの多面的な視点でアドバイスいただけることは非常に有益なことだと思いました。その後ほかのご家族から、当事者の行動や感情の障害で困惑しているお話などがあり、程度の差こそあれ息子と重なる部分があり、「あるある！」と共

感しつつお聞きしていました。皆さんのお話を聞く中で感じたことは、ソーシャルワーカーに相談しても家族側が期待するような回答が得られない、など病院関係者でも高次脳機能障害の理解や知識がまだまだ不足しているということです。

たしかに高次脳機能障害は、一人ひとり症状も異なり非常に理解しづらい病気ですが、家族だけで支えるのは限界があります。病院関係者や支援機関の方には、高次脳機能障害の症状や実態を知っていただくことの重要性を感じる一方で、私たち当事者家族からも積極的に情報を発信することが必要であると今回の相談会で改めて感じました。後日会長さんから「相談会はどうでしたか？お話ししたいことは全部話せましたか？」というお気遣いをいただきました。お忙しい中、企画してくださった会長さんはじめ役員の皆様には感謝を申し上げますとともに、今後もこの家族相談会が充実したものとなり、高次脳機能障害の当事者や家族が生きやすいしくみが整うことを願っております。



# 栃木県障害者総合相談所より

広く一般の皆様にご高次脳機能障害を御理解いただくことを目的として、『高次脳機能障害セミナー』を実施しています。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、YouTube において動画を配信する方法で実施いたします。配信期間内であれば、御都合に合わせて御視聴いただけます。

多くの皆様の参加をお待ちしております。

## 令和 3 (2021) 年度 高次脳機能障害セミナー



【講演】 「生活を支える高次脳機能リハビリテーション」

【講師】 昭和大学 医学部 リハビリテーション医学講座  
准教授 橋本 圭司 (はしもと けいじ) 氏

【配信期間】 令和 3 (2021) 年 11 月 2 日 (火) 9 時 ~ 11 月 16 日 (火) 17 時

【配信期間】 栃木県公式動画アカウント『栃木県チャンネル』(YouTube) による  
限定動画配信

【申込方法】 栃木県電子申請システムからお申し込みください。

方法 1 スマートフォン・タブレットの方は、  
右記のコードから手続きください。

方法 2 県ホームページに掲載されている高次脳機能障害セミナーの御案内チラシ  
のリンク先をクリックして手続きください。



【申込締切】 令和 3 (2021) 年 10 月 29 日 (金)

【注意事項】

- ・インターネット回線に接続可能なパソコン、スマートフォン、タブレット等が必要です。
- ・申し込みいただいた方に、メールにて受講方法等を御案内いたします。
- ・本研修会の録音、録画、写真撮影(スクリーンショットを含む。)、講義資料の二次使用及び Web 上(SNS 含む。)への公開、動画視聴用 URL の第三者への提供は、固くお断りします。
- ・参加費用は無料ですが、動画視聴に係る通信料は参加される方の御負担になります。Wi-Fi や定額制の通信プラン利用での御参加を推奨します。安定したインターネット環境で御視聴ください。



御不明な点がございましたら、

栃木県障害者総合相談所 発達・高次脳機能障害支援課  
TEL 028-623-6114

までご連絡下さい。

## 最近のニュースから

○障害児を対象とする「特別児童扶養手当」(国)の申請における却下件数3倍近くに増加—2019年までの10年間とそれ以前の10年間との比較—

(下野新聞 8月30日)

この手当は障害児を育てる家庭の経済的な負担を補うことが目的で、その申請に基づき都道府県や政令指定都市のそれぞれの判定医が審査し支給可否や等級を決定しているもので、結果的に大きな地域格差が生じていて判定基準の曖昧さや判定医の個人差が指摘されています。それを受けて地域差是正の働きかけが行われた結果が上記のような状態をつくりだしたのではないかと思えます。このことで思い出されるのは、数年前にみられた

障害年金で特に精神障害者に支給されていた年金の給付が大幅に停止されるという状況になったことです。

このような時、いつもその理解の遅れから精神・発達・高次脳機能障害者等にそのしわ寄せが行く場合が多いのはとても残念であり、関係各所の改善を求めたいものです。そして、障害の評価は個々の確かな診断に基づくものであり、決して数合わせのものであってはなりません。

○栃木県の精神障害者にも医療費助成が来年度より始まる

(下野新聞 8月31日)

全国の36都道府県ではすでに実施されている精神障害者への医療費助成制度がようやく本県でも実施される見通しとなりました。対象者は精神保健福祉手帳1級の取得者で(2級取得者への助成は残念ながら今回も見送られました。全国で6都道府県は2級の人にも助成しています。)これまでの重度心身障害者医療費助成制度の対象者に加えることになったものです。入院・通院・調剤費などがその助成対象となります。

高次脳機能障害者の場合、手帳の取得は3種すべてに及び、当障害への理解がまだ進まず、評価判定が難しいことも影

響して、精神保健福祉手帳1級を取得している人は極めて少ないのですが、今後の助成対象拡大への大きな一歩となることには違いありません。また今回の実施には県内の精神障害者家族の会「やしお会」の尽力に寄るところが大であり、私達は関連ある障害者団体として感謝の念を伝えたいと思います。

今回のことで私達も障害理解のための活動や声を挙げることの大切さを再認識したところです。そしてこの様なところにも“差別”が存在することをしっかり認識し、今後の動きを見届けなければなりません。

寄付のお願い —いつも大変助かっております—

引き出しの奥に眠っている古いハガキや切手、テレホンカード、また書損じハガキ等ありましたら是非ご寄付下さい。新しいハガキ等に交換させて頂き、活動の一助にさせて頂きたいと思えます。



# 入会のご案内

高次脳機能障害者（児）とその家族が悩みを話したり、医療や福祉に関する情報を交換したり、理解ある方々の支援の下一人一人の可能性を伸ばし、楽しみや生活の目標を見つけて地域の中で暮らすことができるよう活動しています。一人で悩まずに共に活動していきましょう。

なお、この障害にご理解・ご支援下さる方も、どうぞ正・賛助会員として長く関わって頂きますようお願い致します。

## 【活動内容】

- ・定例会
- ・講演会・学習会
- ・会報誌（なごみだより）発行 年3回
- ・家族相談会—個別・集団（ミニ・各市町）
- ・家族の集い
- ・研修旅行・クリスマス会 等

## 【年会費（一口）】

正会員（個人・家族・支援者）	3,000 円
賛助会員（個人）	2,000 円
賛助会員（団体）	5,000 円

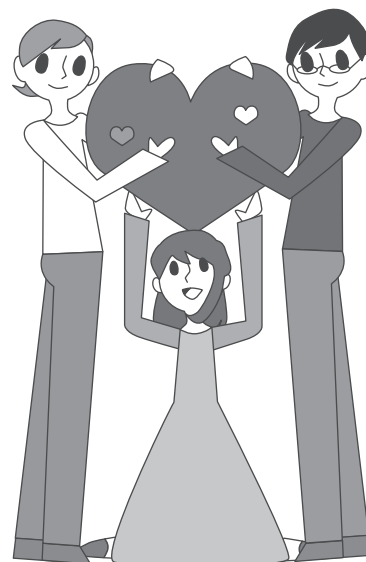
## 【主な活動場所】

ぱぱら

〒320-0032 宇都宮市昭和 2-2-7

TEL 028-623-3455

※県庁西側 税務署北側



## 編集後記

“ヒト”以外のあらゆる生き物との関わりや自然界との関わりなど、何事もない時私達はずいぶんその存在をさほど意識せずに過ごしていますが、このところのコロナウィルスや線状降水帯をはじめとする異常気象など特異な状況下に陥った時、私達“ヒト”もこの世界の一構成員でありそのバランスの上に生きていることを実感します。けっして慢心や驕りがあってはいけないということなのでしょう。

中野和子

## ☆お問い合わせ・お申し込み先

〒329-0502

下野市下古山 3003-47（中野宅）

TEL/FAX 0285-38-6485

※定例会の見学・体験なども随時受け付けています。ご希望の方はご連絡下さい。

## 会報作成担当

表紙・絵 : 石井 一隆 石井 ミヨ

本文編集 : 中野 和子 中野 靖文

印刷・製本 : Cocowa (多機能型事業所)



6月定例会 仲間リハの楽しい作品の数々



家族の集いはオリオン通りの  
カフェ・インクブルーの2Fで開催